

社会起業家ブログ –NPO法人夢検定協会

コロナ禍で、自分は何をすべきかと考え、夢の資格試験を立ち上げて、夢あふれる社会にしたいと思う。
大学院生をしながら、ソーシャルイノベーションに挑戦中！ #夢検定 #夢活 #資格試験 #NPO法人

<< チセヌプリスキー場に関する町長答弁【速報】 | TOP | 意見書へ反対討論を行いました >>

2013年03月16日

チセヌプリスキー場に関する陳情

札幌在住の方から、チセヌプリスキー場に関する陳情書が提出され、14日（木）の蘭越町議会定例会において、議案追加されました。陳情は、主管となる総務・文教常任委員会（富樫委員長）に付託されました。

チセヌプリスキー場の存続への陳情

チセヌプリスキー場が休止の方向である事で、さる1月2日より2月28日まで、チセヌプリスキー場の愛好者及びスキー関係者の協力により、署名活動を実施致しました。予想を超える7566名の署名が集まり、多くのコメントが寄せられ、改めてチセヌプリスキー場の存在価値が大きい事を再認識し、ここにスキー場営業の継続を求めて陳情致します。

昨今スキー人口は減少傾向にありましたが、現在ではスキーブーム時代にスキーを楽しんだ世代の方々が、子供を連れてスキーを再び始め、さらには人口幅の多い団塊世代のスキーヤーが趣味や健康維持と言った目的で増加傾向にあります。

特に団塊世代の方々の山スキーへの踏み入れ、若い世代でもスキー場だけでは飽き足らず、パウダースキーの楽しめるオフピステへの興味変化と著しく増加を辿っています。チセヌプリスキー場は山スキー愛好家にも、パウダースキー愛好家にも格好のスキー場と、人気が急上昇しているのが現場で感じられる事です。更には、スキーを滑った後にすぐ温泉に入れると言う、特別な環境であります。

山スキーに至っては、マテリアルの進化によって誰でも簡単に楽しめるようになりました。チセヌプリの場合、リフトが利用出来るので、高齢者でも山に登れると言う利点があります。山スキーにはスキー場でのスキーとは違い危険のリスクがあります。チセヌプリスキー場は山スキーへの導入としてすぐれた練習環境であります。リゾートなどで見られる、完成された施設や環境から起きる責任転嫁が、チセヌプリスキー場では自己責任の認識に変わります。レジャーやスポーツに必要な自己責任のもと、緊張感や自制心、充実感、自然のルールを誰もが感じる場所なのです。子供達への教育の環境でもあり、チセで滑った者には、モラルが生まれています。ローカル色は強いのですが、かえってそれが他にはない環境と言う点に結びついています。つまり他にはないスキー場なのです。

世界中でニセコのパウダーは世界一と言われていています。チセヌプリのスキー場が休止になる事はニセコ全体の問題でもあるかと思えます。

また、チセヌプリスキー場を利用して仕事をしている者、チセヌプリスキー場に来るスキーヤー・スノーボーダーを見越しているロッジ経営者などにとっては死活問題でもあります。

署名の多くの方のコメントが、「次世代の為に」「素敵なスキー場をなくさないで」と言う事で存続を求めています。

今一度、チセヌプリスキー場の営業継続の方向性を探り、存続の為の検討を切望致します。

いいね! 4 ツイート

posted by NPO法人 資格試験 at 00:03 | [Comment\(0\)](#) | [チセヌプリスキー場/雪秩父](#)

この記事へのコメント

コメントを書く

お名前: [必須入力]

メールアドレス: [必須入力]

ホームページアドレス:

コメント:

※ブログオーナーが承認したコメントのみ表示されます。

確認する

書き込む

